

中村威展

Nakamura Takeshi

生活景を描く

2018年 3月17日(土) - 5月6日(日)

開館時間 9:00-17:00(入館は16:30まで)

休館日 4月23日(月)・26日(木)・27日(金) / 5月1日(火)

入館料 一般400円 団体(20名以上)300円 小中高生100円

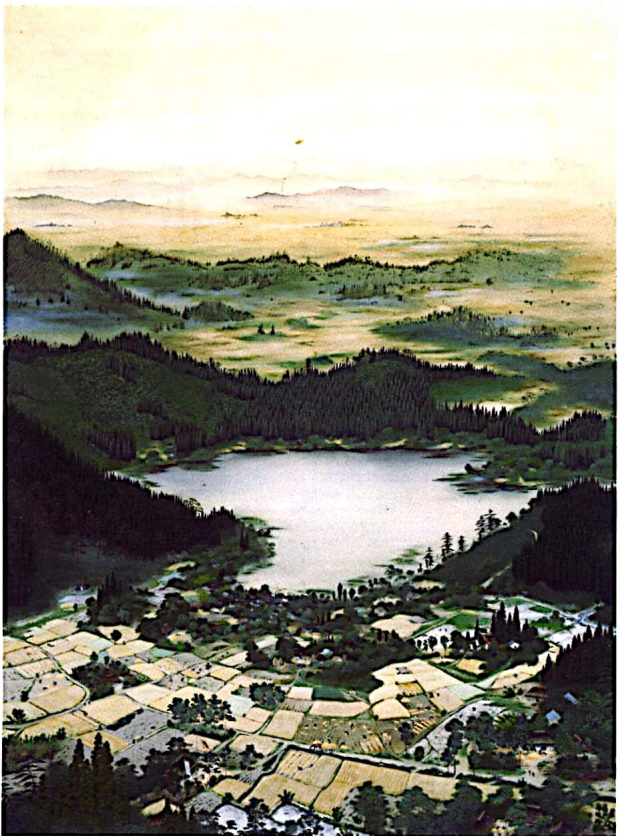
桃まつり期間中(3月20日-4月5日)は一般300円



早朝(絹本着色 1929年)

中村威は明治31年(1898)古河生まれの日本画家。幼少の頃から絵を好み、大正5年(1916)水戸中学校を卒業後、18歳の頃から日本画家・山内多門に師事し本格的に日本画を学びます。大正14年(1925)第2回茨城美術展に「早春の畑」を出品、県賞第二席を受賞し県知事買い上げとなります。また、昭和5年(1930)には第11回帝国美術院展覧会に「麦秋」が初入選となり、以後も茨城美術展や帝展に出品を重ねました。平成元年(1989)に91歳で亡くなるまで古河に住み、身近な田園風景やそこに暮らす人々、渡良瀬の沼地などに取材した絵画を数多く遺しました。

本展では、大正末期から昭和初期に描かれた作品を中心に、中村作品の大きな魅力である、穏やかな詩情をたたえた懐かしい絵画世界を紹介します。古河の風景や人々に対する作者の温かな眼差しを、これらの郷愁あふれる作品から感じていただければ幸いです。



麦秋(絹本着色 1930年)第11回帝国美術院展

中村威展

生活景を描く

会期

2018年3月17日(土)～5月6日(日)

開館時間

9:00-17:00(入館は16:30まで)

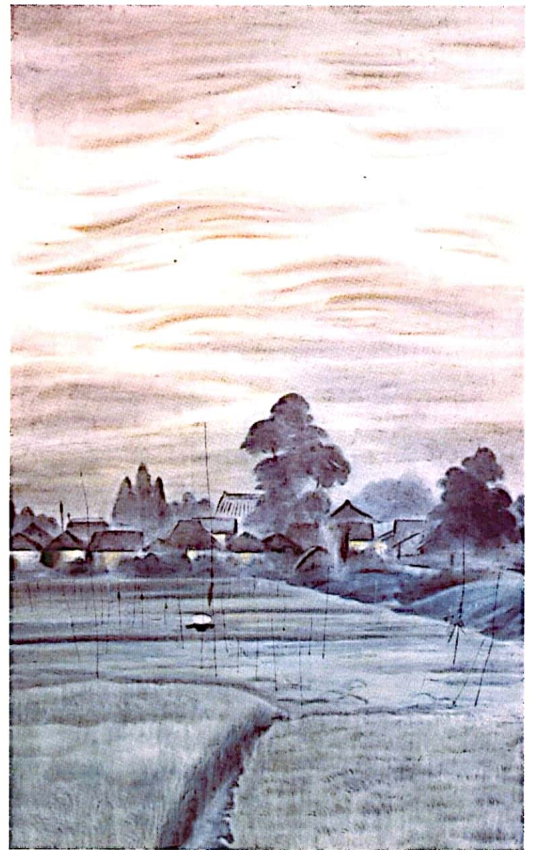
休館日

4月23日(月)・26日(木)
・27日(金)／5月1日(火)

入館料

一般400円 団体(20名以上)300円
小中高生100円

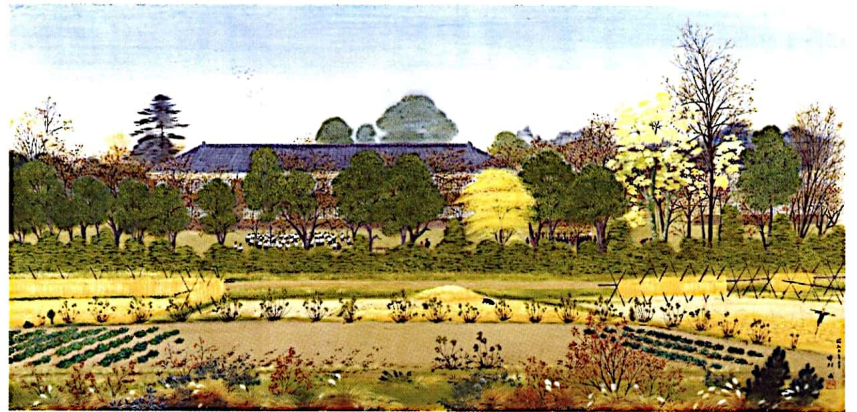
桃まつり期間中(3月20日～4月5日)
一般300円



夕暮れ(紙本着色)



とんぼ狩り(紙本着色 1928年)



出城より美科女学校を望む図(絹本着色 1930年)

交通のご案内

◆電車

JR宇都宮線・湘南新宿ライン・上野古河ライン
古河駅より徒歩15分

東武日光線

新古河駅徒歩20分

◆車

東北自動車道

久喜I.Cから40分／加須I.Cから30分

羽生I.Cから30分／館林I.Cから30分

圏央道

五霞I.Cから30分／境古河I.Cから30分

